

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年8月6日

仙台・六郷児童館「ハッピーペイント(水鉄砲アート)」

熱帯夜が空けたこの8月6日も、またもや晴天炎天下。ものすごい暑さの中で、ワークショップはスタートしました。

フェンスに巡らせた白い不織布に水彩絵の具で絵を描き、水鉄砲攻撃を加えるというお絵かきもこの夏3回目。大人のスタッフは、外の準備だけでヘロヘロしているのに、それを待っている子どもたちは、窓を開けっ放しにしただけの遊戯室で、かけっこしたり、ボール遊びをしたりと、全くの疲れ知らず。恐れ入ります。

絵の具の準備も整って、挨拶の後、外で絵を描き始めた子どもたち。明るく楽しい色合いの画面が出来上がっていく一方で、はじこのスペースを確保した男の子たちのグループは、思いの丈をぶつけるように、はじける画面を作り出していました。最初っからドロッピング。すぐに自分の顔や手足にも絵の具で彩色。水鉄砲を手にしても、攻撃の手は緩めることは無く、斬新な現代アートのような作品が仕上がっています。

夢中になって描いている子どもたちに、先生が「顔赤くなっている人は、ちゃんと水分取ってね！」何度も声をかけます。

水筒を持ってこなかった子は、蛇口から水をゴクリ。そして、またお絵かきに出陣していきます。

昨年までに比べると、描く子どもたちが、全体的に穏やかになってきた印象です。もしかすると、それぞれ、思いをはき出す蛇口が、いろいろなところに少しずつ増えてきたのかもしれないね。

帰り道の途中で、スコールのような雨に出くわしたスタッフ三人。フェンスに乾かしっぱなしになっていた作品はどうなっただろうと、ちょっぴり心配しています。

